

ENGINEER

M P D P

ダイアリー

高崎 充弘

第49回 【速報】iF design award 2017 受賞



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。

待ちに待ったメールがドイツから届きました！

CONGRATULATIONS!

You have won an iF DESIGN AWARD 2017!



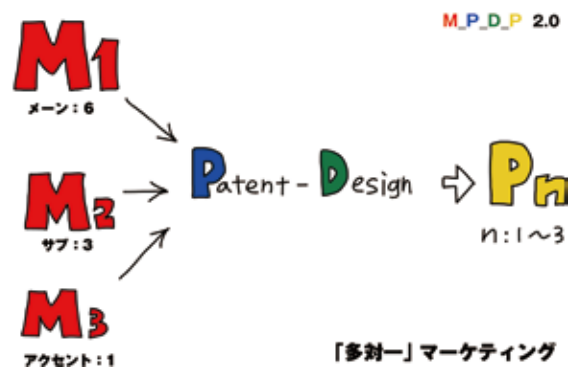
ネジザウルスシリーズ最新機種の6代目「ネジザウルスZ（ゼータ）」がiFデザイン賞を受賞したのです。

同賞は、ドイツのInternational Forum Design GmbHがデザイン振興を目的に1953年から運営している世界で最も権威のある工業デザイン賞の一つで「デザイン界のオスカー」とも称されています。今回は59の国・地域から集まった5575点の応募デザインについて日本人2名を含む58名のデザイン専門家による厳正な審査が行われ、「ネジザウルスZ」もそのなかから選ばれたのでした。

この「ネジザウルスZ」は3つのベネフィット（特徴）を備えています（本稿2016年6月号）。メイン・ベネフィットはタテ溝で、小さいネジの頭をガッチリ掴みます。

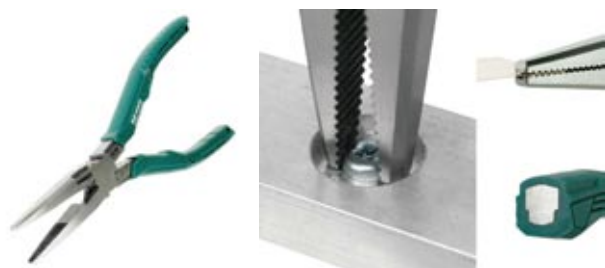
サブ・ベネフィットはヨコ溝のギア歯による薄板の保持と電線切断機能の両立。

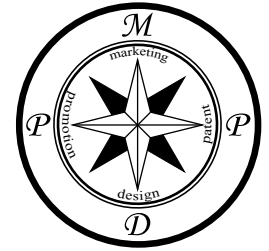
アクセント・ベネフィットはT型グリップによる軽量化と装着性の向上です。今回の受賞はJURY（審査員）にこれらのいずれかのベネフィット、あるいは組み合わせが評価されたのだと思います。ユーザーによって反応するポイントが異なるため、複数のベネフィットをバランス良く配し、有機的に訴求することが大切だと考えています。



そして開発したものについて、新規性・進歩性があれば国内外での特許等の権利化、あるいはノウハウとしての秘匿化、外観のデザインは意匠による権利化を検討します。デザイン賞の意義は、これら機能価値だけではなく、感性（情緒）価値や安全性など製品としてのトータルな価値評価をプロのデザイナーから得られることにあります。

当社では6年前に4代目ネジザウルスGTがiF product design award 2011を受賞しており、今回で2度目のiF受賞です。ネジザウルスシリーズは「グッドデザイン賞」と「iFデザイン賞」を合わせて5つの受賞となり、開発・デザインチームにとっては大きな励みとなりました。





銀：いや～ iF受賞メッチャうれしいでんな！

ウ：社長はん、オメデトウございます！ 前号までは3回連続で、歴史秘話ヒストリアやったけど、MPDPも着々と進んでましてんな～。（*^^*）

高：銀次郎くんたちデザインチームのおかげだよ！ 本当によくやってくれたね。

銀：思い返せば、2009年にネジザウルスGTがグッドデザイン賞を受賞し、その勢いでiFも受賞（2011年）したことが出発点でしたな。

高：デザインに詳しい友人から「お前とこのペンチ、ドイツのiFデザイン賞取ったらしいな～。プロのインダストリアル・デザイナーの10年選手、いや20年選手でもなかなか取れないのに、すごいな！」とビックリされたんだ。

ウ：ほぼ素人の銀次郎はんのデザインで、しかも初めてのエントリーでの受賞やからな～。

銀：素人は余計やろ、失礼なやっちゃ！（-_-）

高：そこでこう思ったんだよ。「これはビギナーズ・ラックに違いない。こんなことが毎回続くはずがない！」

ウ：それで外部デザイナーの活用を進めはって……。

銀：デザイン学部出身の「精華隊」の誕生にもつながりましたな（本稿2016年7月号）。

高：それでも世界最高峰のiFのハードルは高かった。MPDP理論を活用して開発したネジザウルスGT以降の新製品は4回チャレンジしたが、受賞には至らず。やはり、正真正銘ビギナーズ・ラックだったのかと感じ始めていた時に……。

ウ：ネジザウルスZがやってくれましたな！ しかもネジザウルスGT、RX、Zの3機種 of 全てがグッドデザイン賞、2機種がiFデザイン賞って、これすごいことだっせ！

銀：もう素人とか、ビギナーとか言わさんで。

ウ：分かってまんがな～、「世界のGINJIRO」はん。

高：「多対一マーケティング」や「プロダクト・アウトとマーケット・インの融合」（本稿2015年6月号）などMPDPからMPDP2.0に進化していることも、6年ぶりのiF受賞につながった重要なポイントの一つだと感じている。

ウ：2011年のハノーバーでの受賞式はどうでしたん？

高：その年は世界43カ国・地域から2756点がエントリーし、ネジザウルスGTを含む993点が受賞したんだが、iF史上初の6製品で最高賞「gold award」を獲得したのがiphone4、ipadなどのアップル社だった。さすがだね！

銀：うちらも次はgold award狙いましょうや！ 金メッキのネジザウルス……なんちゃって～。（^_^;）

高：日本からもパソコンやデジカメ、ロボットやモーターなど民生用から工業用まで大企業の受賞はたくさんあったが、中小企業の製品はほとんどなかった。一方で韓国や台湾からは大企業だけではなく、中小企業の受賞もかなり多かったのがショックだった。

ウ：まだまだ日本の中小企業のデザインマインドが低いっちゃうことであらうか？ ええ技術は持ってんねんけどな～。

銀：今年は中国の受賞企業が増えてるんちゃうやろか？

高：北京大学や清華大学にもデザイン学部があってデザイン教育に力を入れているみたいだね。

ウ：日本では東大や京大にはおまへんけど、「京都」精華大学にはデザイン学部ありませ～。（*^^*）

銀：デザイン思考が叫ばれてまっけど、プロモーションのプロセスが欠落してるから、中小企業にはちょっと活用しづらいですな（本稿2016年5月号）。

高：MPDPのプロセスを一気通貫にプロデュースできる人材教育と仕組みが必要なんだ。

ウ・銀：次号はミュンヘンでのiF受賞式のお土産話、お楽しみに！